

◆ 2021 年度 活動 報告 シ ー ト ◆

団体名：和光樹林公園 野の花の会

24A-43

代表者：代表 浅野 里香

URL : <https://nonohanawako.wixsite.com/website>

1. 活動が必要とされた状況

◎県営和光樹林公園内の通称「ニリンソウ草地」は、豊かな植生を有しているが、公園管理事務所による機械での一律な草刈りで貴重な在来種が夏秋に開花しない。

◎外来種も侵入し始めている。

↓ ↓ ↓

手で草刈りする保全的管理に切り替え、「自然のお花畑」を回復させたい。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

2021年7月24日／笹刈り／参加人数：5人

保全したい草地に夏場繁茂してくる笹の草刈り。

2021年11月20日／外来種除草／人数：5人

保全したい草地に侵入している強健外来種のヘラオオバコを根ごと除草。

2022年2月19日／外来種除草／人数：5人

（同上）

2022年3月3日／環境調査・勉強会／人数：8人（予定）

【テーマ：外来種】保全したい草地に侵入している外来種をはじめとする外来種の知識、共生の仕方などについての知識を得る勉強会。保全的管理のアドバイスも受ける。



3. 活動の成果

◎保全したい草地で、夏場の笹刈り及び、秋冬に外来種除草を実施。保全的管理に着手できた。これまでは保全したくても公園の許可が得られなかったので大きな前進。

◎講習会（調査・勉強会）を行い「外来種」及び「保全的管理の手法」について知見を得ることができる。（3月3日実施予定）

4. 今後に残された課題

〈反省〉

◎少人数で広範囲に笹を刈ろうとすると雑になり、開花間近の在来種を傷つけてしまうことが多かった。選択的草刈りの難しさに直面した。

また、初夏に一度、公園管理事務所が機械での草刈りを行った。そこは夏秋植物がほとんど開花しなかった。

〈課題〉

◎春・夏は一度も機械での草刈りを入れることなく、多人数で丁寧に笹を刈ることが重要と思われた。

◎強健外来種ヘラオオバコは1年では駆除しきれなかった。花穂を摘む作業も必要と思われた。

